

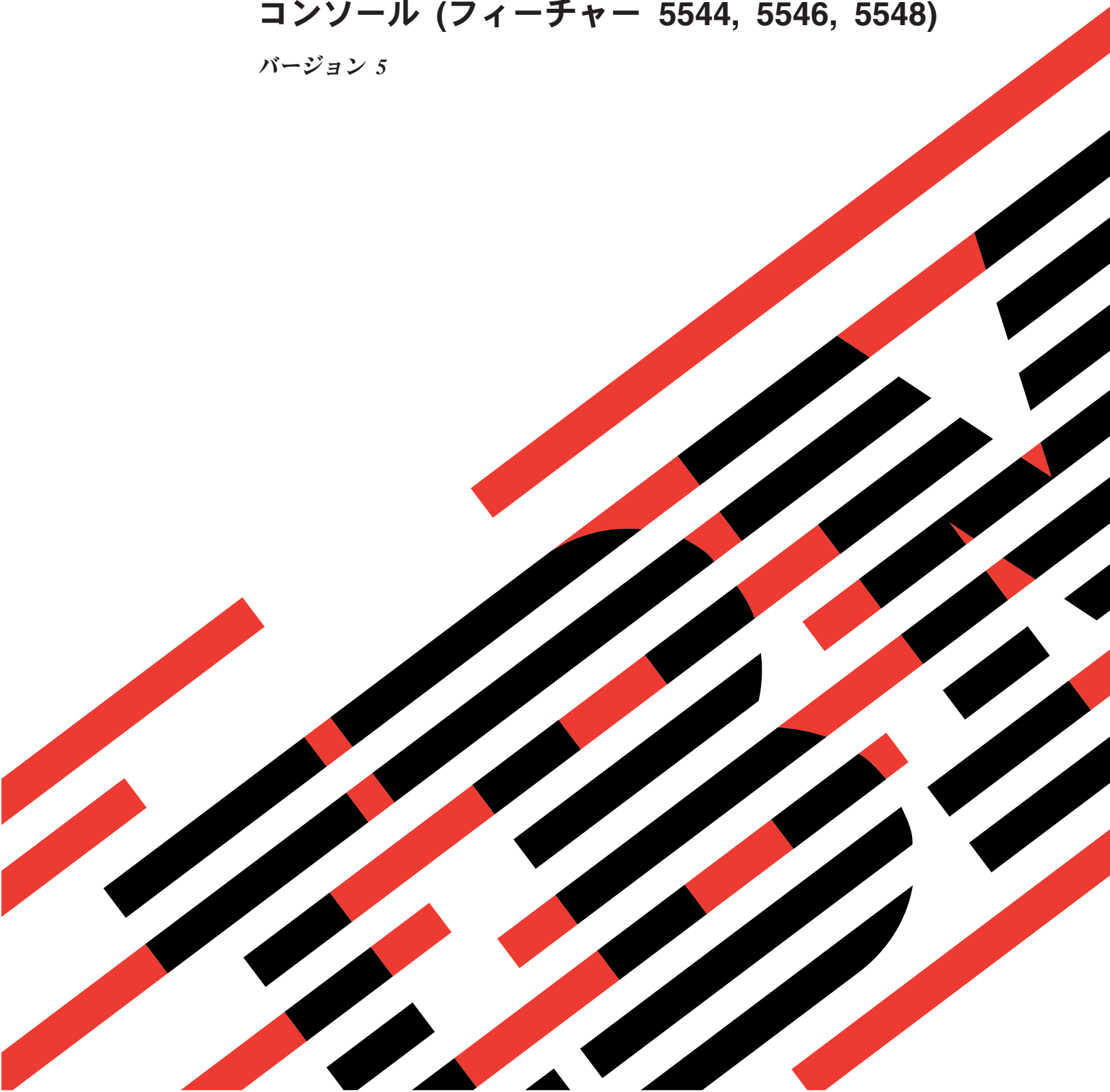
IBM

@server

iSeries 270/8xx

システム装置のアップグレード:  
平衡型コンソールからオペレーション・  
コンソール (フィーチャー 5544, 5546, 5548)

バージョン 5







@server

iSeries 270/8xx

**システム装置のアップグレード:  
平衡型コンソールからオペレーション・  
コンソール (フィーチャー 5544, 5546, 5548)**

バージョン 5

© Copyright International Business Machines Corporation 2000, 2003. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2002

---

## 平衡型コンソールからオペレーション・コンソールへのアップグレード

ここでは、平衡型コンソールからオペレーション・コンソールにアップグレードする方法を紹介します。

リモート制御パネル・ケーブルを接続する場合は、必ずこのアップグレードを開始する前にそのケーブルを用意しておいてください。

パーソナル・コンピューター (PC) にオペレーション・コンソールの前提条件をインストールします。前提条件については、*Information Center* の『オペレーション・コンソール』を参照してください。

**LAN 接続性をインストールする場合は、*Information Center* の『オペレーション・コンソール』を参照してください。**

コンソール装置を変更する場合は、iSeries システム値 **QAUTOCFG** を **ON** に設定する必要があります。以下の手順を実行して、このシステム値を iSeries 上で確認または設定してください。

- \_\_ 1. OS/400® コマンド行に **WRKSYSVAL QAUTOCFG** と入力して実行キーを押します。
- \_\_ 2. 「システム値の処理」画面から「**変更オプション**」を選択して、実行キーを押します。
- \_\_ 3. 「システム値の変更」から「**1 (オン)**」を選択して、実行キーを押します。
- \_\_ 4. 「システム値の処理」画面が表示されます。F3 を 1 回押して、「メイン・メニュー」に戻ります。

---

### はじめる前に

このフィーチャーは、ユーザー自身でインストールすることができます。ユーザー自身で行わない場合、このフィーチャーのインストール作業を IBM® または IBM 特約店に有料で依頼することもできます。

ユーザーのジョブを完了し、システムのバックアップを取り、システムの初期プログラム・ロード (IPL) を実行して、ハードウェア構成を検査するために時間がさらに必要になります。

本書を使用して、以下の作業を行うことができます。

- システム装置カバーを取り外す。
- 新しいハードウェアを取り付ける。
- カバーを取り付ける。
- オペレーティング・システムを初期プログラム・ロード (IPL) する。
- 新しいハードウェア構成を検査する。

これらの説明中の図は、ご使用のシステム装置と少し異なる場合もあります。ただし、作業を実行する手順は同じです。

- \_\_ 1. システム (オペレーティング・システム、ライセンス・プログラム、およびデータを含む) の最新バックアップが手元にあることを確認します。
- \_\_ 2. 手順全体に目を通して、一連の手順を理解してください。
- \_\_ 3. 部品が正しくなかったり、欠落している、あるいは外観上損傷がある場合には、以下にご連絡ください。
  - IBM 特約店
  - IBM 営業担当員
    - 1-800-300-8751 (米国)
    - 1-507-253-5242 (全世界共通)
- \_\_ 4. インストール中に不都合が生じた場合は、認可されたサービス提供元または特約店に連絡してください。
- \_\_ 5. 新しいフィーチャーをインストールする前に、PTF 前提条件があるかどうかを確認してください。次の Web サイトにアクセスします。

<http://www-912.ibm.com/supporthome.nsf/document/10000051>

  - a. 「**All Documents**」を選択します。
  - b. 「**Collapse**」を選択します。
  - c. 「**General Information**」を選択します。
  - d. 「**Offerings**」を選択します。
  - e. 「**Feature Prerequisites**」を選択します。
  - f. 「**Customer Install Features Prerequisites**」を選択します。
  - g. この製品のフィーチャー番号と OS/400 リリースを見つけて、前提条件を調べます。

---

## システム装置の電源オフ

- \_\_ 1. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- \_\_ 2. すべてのジョブが完了したら、コマンド行に `pwrdownsys *immed` と入力して、実行キーを押します。
- \_\_ 3. ご使用のシステム装置は iSeries 270/810 または 820 または 825 のどれですか?
  - \_\_ **270 または 810:** 次のステップに進みます。
  - \_\_ **820 または 825:** ステップ 6(3 ページ)に進みます。
- \_\_ 4. 制御パネルの「機能/データ」画面を見てください。 9 ページの『システム装置の制御パネル』を参照してください。
- \_\_ 5. 「機能/データ」表示パネルに **01 B M V=x** (x は F または S のいずれか) が表示されていますか ?
  - \_\_ **はい:** ステップ 8(3 ページ)に進みます。
  - \_\_ **いいえ:** 以下の作業を行います。
    - \_\_ a. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

- \_\_ b. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
  - \_\_ c. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
  - \_\_ d. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
  - \_\_ e. 「機能/データ」画面に **M** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
  - \_\_ f. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
  - \_\_ g. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
  - \_\_ h. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
  - \_\_ i. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
  - \_\_ j. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。  
「機能/データ」画面に **01 B M S** と表示されます。表示されない場合は、ステップ 5a (2 ページ) ~ 5j を繰り返します。
  - \_\_ k. ステップ 8 に進みます。
- \_\_ 6. 制御パネルの「機能/データ」画面を見てください。
- \_\_ 7. 「機能/データ」表示パネルに **01 B V=S** が表示されて、手動モード標識 (小さい手) が点灯しましたか？
- \_\_ はい: 次のステップに進みます。
  - \_\_ いいえ: 以下の作業を行います。
    - \_\_ a. 手動モード・インディケータ (小さい手のマーク) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。
    - \_\_ b. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ c. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ d. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ e. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ f. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ g. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ h. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ i. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。  
「機能/データ」表示パネルに **01 B S** と表示され、手動モード標識 (小さい手) が点灯するはずですが、このように表示されない場合は、ステップ 7a ~ 7h を繰り返します。
- \_\_ 8. 制御パネルにある「電源」押しボタンを押します。「電源オン」ライトがオンになるまで約 10 秒かかり、その後「機能/データ」画面にデータが表示されます。

注: システムに電源を入れてから IPL が完了するまでは、およそ 5 ～ 10 分かかります。IPL が完了すると、システム装置のコンソールに「システムの IPL または導入」画面が表示されます。

---

## コンソール装置としてのオペレーション・コンソールの選択

LAN 接続性をインストールする場合は、*Information Center* の『オペレーション・コンソール』を参照してください。

ここでは、ダイヤルアップ LCS 用のコンソール装置としてオペレーション・コンソール（直接）を選択するための説明をします。「システムの IPL または導入」画面が表示されたら、次のようにします。

- \_\_\_ 1. 「専用保守ツール (DST) の使用」を選択して、実行キーを押します。
- \_\_\_ 2. 専用保守ツールの現行パスワードを使用します。
- \_\_\_ 3. 「保守専用ツール (DST) のサインオン」画面で「DST ユーザー」と「DST パスワード」に保守ツールのユーザー ID および保守ツールのパスワードを入力し、実行キーを押します。
- \_\_\_ 4. 「専用保守ツール (DST) の使用」画面から「DST 環境の処理」を選択して、実行キーを押します。
- \_\_\_ 5. 「DST 環境の処理」画面から「システム装置」を選択して、実行キーを押します。
- \_\_\_ 6. 「システム装置の処理」画面から「コンソール・モード」を選択します。
- \_\_\_ 7. 「コンソール・タイプの選択」画面から「オペレーション・コンソール（直接）」を選択します。

**重要:** すでに 2 が表示されていても、必ず 2 と入力して、実行キーを押してください。これで、値の再書き込みが強制的に行われます。

LAN を選択した場合は、*Information Center* の『オペレーション・コンソール』を参照してください。

- \_\_\_ 8. 「専用保守ツール (DST) の使用」画面に戻るまで F3 キーを押します。
- \_\_\_ 9. 「保守ツールの開始」を選択し、実行キーを押します。
- \_\_\_ 10. 「操作パネル機能」を選択し、実行キーを押します。
- \_\_\_ 11. ファンクション・キーを選択して、システムの電源をオフにします (F10)。
- \_\_\_ 12. 実行キーを押して、電源遮断を確認します。
- \_\_\_ 13. 接続ワークステーションとプリンターの電源をオフにして、プラグを抜きます。

---

## オペレーション・コンソール・ケーブルの接続

- \_\_\_ 1. カバーを取り外します。11 ページの『装置カバー』を参照してください。
- \_\_\_ 2. 静電気の放電により装置が損傷しないように、使い捨てリスト・バンドを着用します。フォイルの粘着側を、装置のフレームの未塗装面に取り付けます。



**注:**

- a. リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用したからといって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。
  - b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールをはがします。
  - c. 銅フォイルを、装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます (アース)。
- \_\_\_ 3. **270 システム装置**を使用している場合は、位置 C07 を見つけます。詳しくは 17 ページの『PCI カードの位置』を参照してください。
- 820 システム装置**を使用している場合は、位置 C06 を見つけます。詳しくは 17 ページの『PCI カードの位置』を参照してください。
- 830、840、または 890 システム装置**を使用している場合は、位置 C02 を見つけます。詳しくは 17 ページの『PCI カードの位置』を参照してください。
- \_\_\_ 4. オペレーション・コンソール・ケーブル **部品番号 97H7557** を 2771、9771、9793、9799 カード上の右側のコネクタに接続します。
- \_\_\_ 5. そのケーブルのもう一方の端を、オペレーション・コンソールに使用する PC で最初に使用可能なシリアル・ポートに接続します。
- \_\_\_ 6. 接続するリモート制御パネル・ケーブルがありますか？
- \_\_\_ いいえ: 次のステップに進みます。
- \_\_\_ はい: リモート制御パネル・ケーブル (終端のピンが欠けている) を、**デバッグ**というラベルの付いたシステム装置背面のコネクタに接続します。リモート制御パネル・ケーブル (97H7591) のもう一方の端を、コンソールとして使用している PC の背面の平行ポートに接続します。次のステップに進みます。
- \_\_\_ 7. システム装置のカバーを取り付けます。
- \_\_\_ 8.

## 危険

電源コンセントの配線に誤りがあると、システムまたはシステムに接続されている装置の金属部分に高い電圧がかかり危険になりかねません。感電事故防止のため、電源コンセントを正しく配線しコンセントの接地端子を正しく接地する (アース) 工事はユーザーの責任で行っていただきます。(RSFTD201)

以下の電源コードのプラグを電源コンセントに差し込みます。

- システム装置

**注:** この時点でシステム装置の電源をオンにしないでください。

- システム装置コンソール
- システム拡張機構

- \_\_\_ 9. コンソールであるワークステーションまたは PC の電源をオンにします。

- \_\_ 10. システム装置は 270/810 または 820/825 のどちらですか?
- \_\_ 270 または 810: 次のステップに進みます。
  - \_\_ 820 または 825: ステップ 13 に進みます。
- \_\_ 11. 制御パネルの「機能/データ」画面を見てください。
- \_\_ 12. 「機能/データ」画面に **01 B N V=S** と表示されていますか?
- \_\_ はい: ステップ 15 (7 ページ) に進みます。
  - \_\_ いいえ: 以下の作業を行います。
    - \_\_ a. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ b. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ c. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ d. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ e. 「機能/データ」画面に **N** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ f. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ g. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ h. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ i. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ j. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。  
「機能/データ」画面に **01 B N S** と表示されるはずですが、表示されない場合は、ステップ 12a ~ 12i を繰り返します。  
ステップ 15 (7 ページ) に進みます。
- \_\_ 13. 制御パネルの「機能/データ」画面を見てください。
- \_\_ 14. IPL モードの「通常 (OK)」が選択された状態で、「機能/データ」画面に **01 B V=S** が表示されていますか?
- はい: 次のステップに進みます。
  - いいえ: 次の作業を行います。
    - \_\_ a. 手動モード・インディケータ (小さい手のマーク) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。
    - \_\_ b. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ c. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ d. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ e. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ f. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ g. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

- \_\_ h. 正常標識 (OK) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。
  - \_\_ i. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
  - \_\_ j. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。  
「機能/データ」表示パネルに **01 B S** と表示され、**OK** が点灯します。このように表示されない場合は、ステップ 14a (6 ページ) ~ 14i を繰り返します。
- \_\_ 15. 制御パネルにある「電源」押しボタンを押します。およそ 10 秒後に電源オン・ライトがオンになり、「機能/データ」表示パネルにデータが表示されません。
- 注:** システムに電源を入れてから IPL が完了するまでは、約 5 ~ 20 分かかります。IPL が完了すると、「機能/データ」画面に **01 B N S** が表示されます。
- \_\_ 16. *iSeries* セットアップおよびオペレーション CD-ROM (SK88-8058-01) を PC の CD-ROM ドライブに入れて、簡単セットアップ・ウィザード・オプションを選択して *iSeries* をセットアップします。インストール・プロンプトに従って完了させてください。
- \_\_ 17. オペレーション・コンソールの動作時に、すべての接続装置 (印刷装置や表示装置など) のプラグを差し込み、電源をオンにします。



## システム装置の制御パネル

iSeries システム装置の前面にある、制御パネルの扉を開きます。

制御パネルの外観は、図 1、または 10 ページの図 2 のようになっています。ご使用の装置の制御パネルを確認してください。

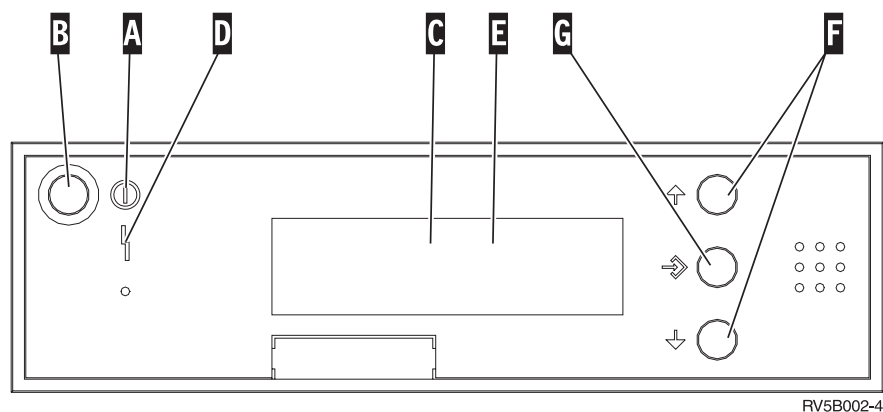
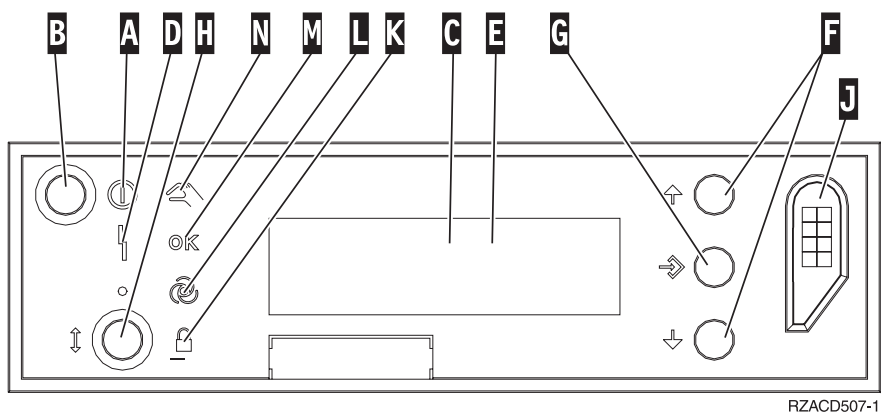


図 1. 電子キースティックのない制御パネル

以下は、図 1 にある各部の説明です。

- A** 「電源オン」ライト
  - ライトが明滅しているときは、装置に電源が供給されています。
  - ライトが点灯しているときは、装置は作動中です。
- B** 「電源」押しボタン
- C** 処理活動状態
- D** 「システム・アテンション」ライト
- E** 「機能/データ」表示パネル
- F** 「増/減」ボタン
- G** 「機能開始」押しボタン

制御パネルが 10 ページの図 2 のようになっている場合、**F** の「増/減」ボタンと **G** の「実行」押しボタンを使用するには、先に **H** の「モード選択」ボタンを押して、手動モード **N** を選択しておく必要があります。



RZACD507-1

図2. 電子キースティックのある制御パネル

- A** 「電源オン」 ライト
  - ライトが明滅しているときは、装置に電源が供給されています。
  - ライトが点灯しているときは、装置は作動中です。
- B** 「電源」 押しボタン
- C** 処理活動状態
- D** 「システム・アテンション」 ライト
- E** 「機能/データ」 表示パネル
- F** 「増/減」 ボタン
- G** 「機能開始」 押しボタン
- H** 「モード選択」 ボタン
- J** 電子キースティック・スロット
- K** ロック
- L** 自動
- M** 通常
- N** 手動

---

## 装置カバー

ご使用の装置を選択してください。

- 『270、810、または 820 システム装置』
- 13 ページの『830、840、870、890、SB2、SB3、5074、5079、および 5094 装置』
- 15 ページの『ラック内の 270 および 810 装置』

---

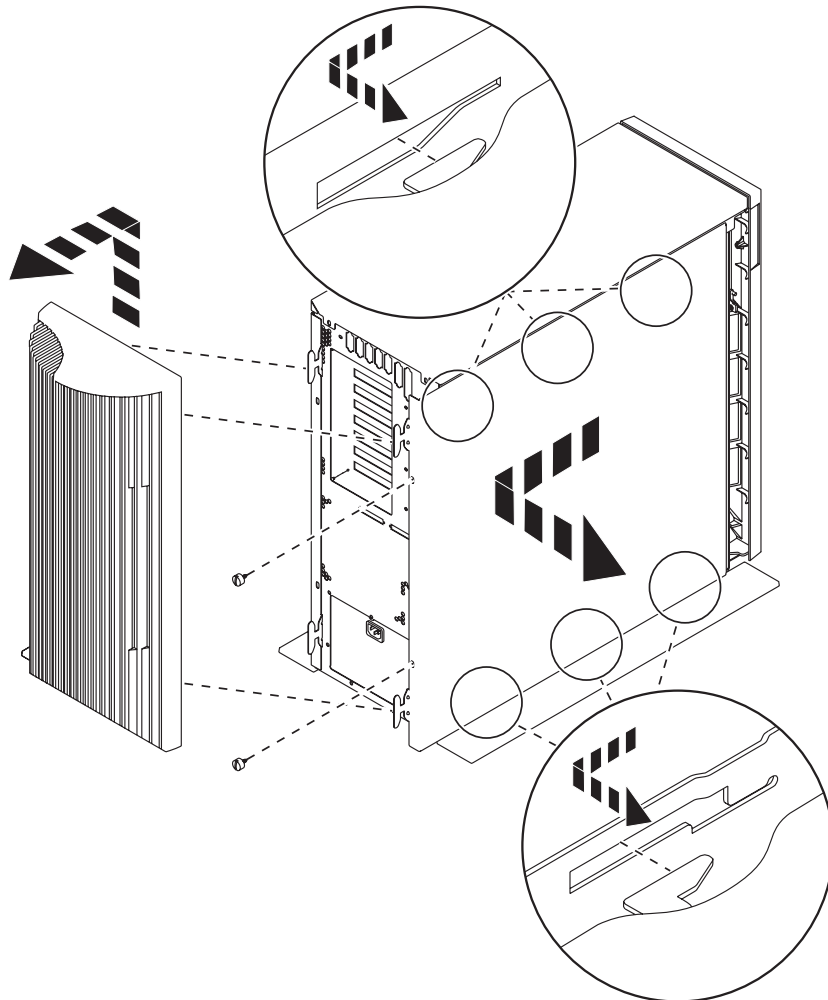
### 270、810、または 820 システム装置

PCI カード位置を見つけるには、背面カバーともしあれば側面カバーを取り外す必要があります。

- 1. 背面カバーの下部を持ち、上に持ち上げて取り外します。
- 2. **重要:** 電源をオンにしたまま側面カバーを取り外すと、電磁障害のためにエラーが起こる場合があります。

つまみねじを緩め、カバーを前から後ろへ止まるまでスライドさせて、右側面カバー (背面から見て) を取り外します。

- 3. カバーを引き出します。



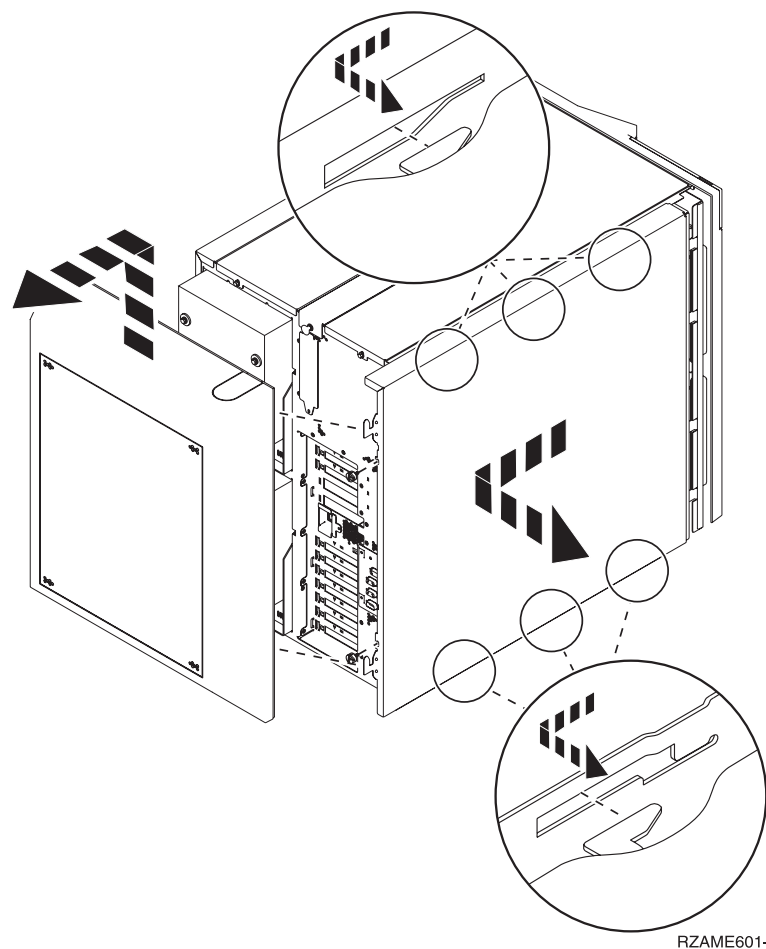
RZAQ2517-0

## 825 システム装置

PCI カード位置を見つけるには、背面カバーと側面カバーを取り外す必要があります。

- \_\_ 1. 背面カバーの下部を持ち、上に持ち上げて取り外します。
- \_\_ 2. つまみねじを緩め、カバーを前から後ろへ止まるまでスライドさせて、右側面カバー（背面から見て）を取り外します。
- \_\_ 3. カバーを引き出します。



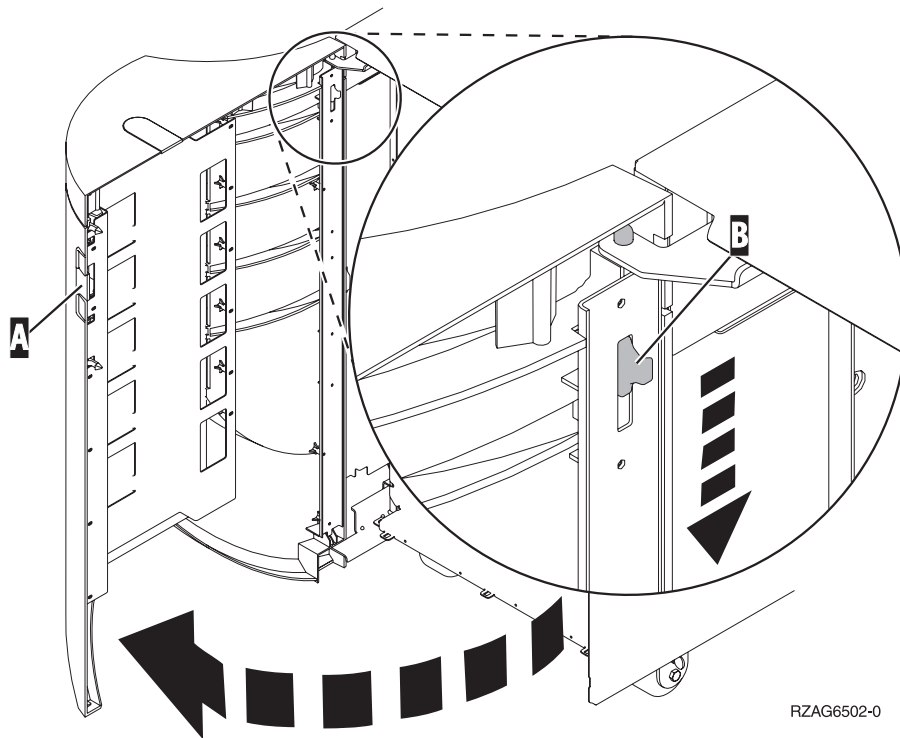


RZAME601-0

## 830、840、870、890、SB2、SB3、5074、5079、および 5094 装置

PCI カード位置に届くようにするには、背面カバーを開ける必要があります。

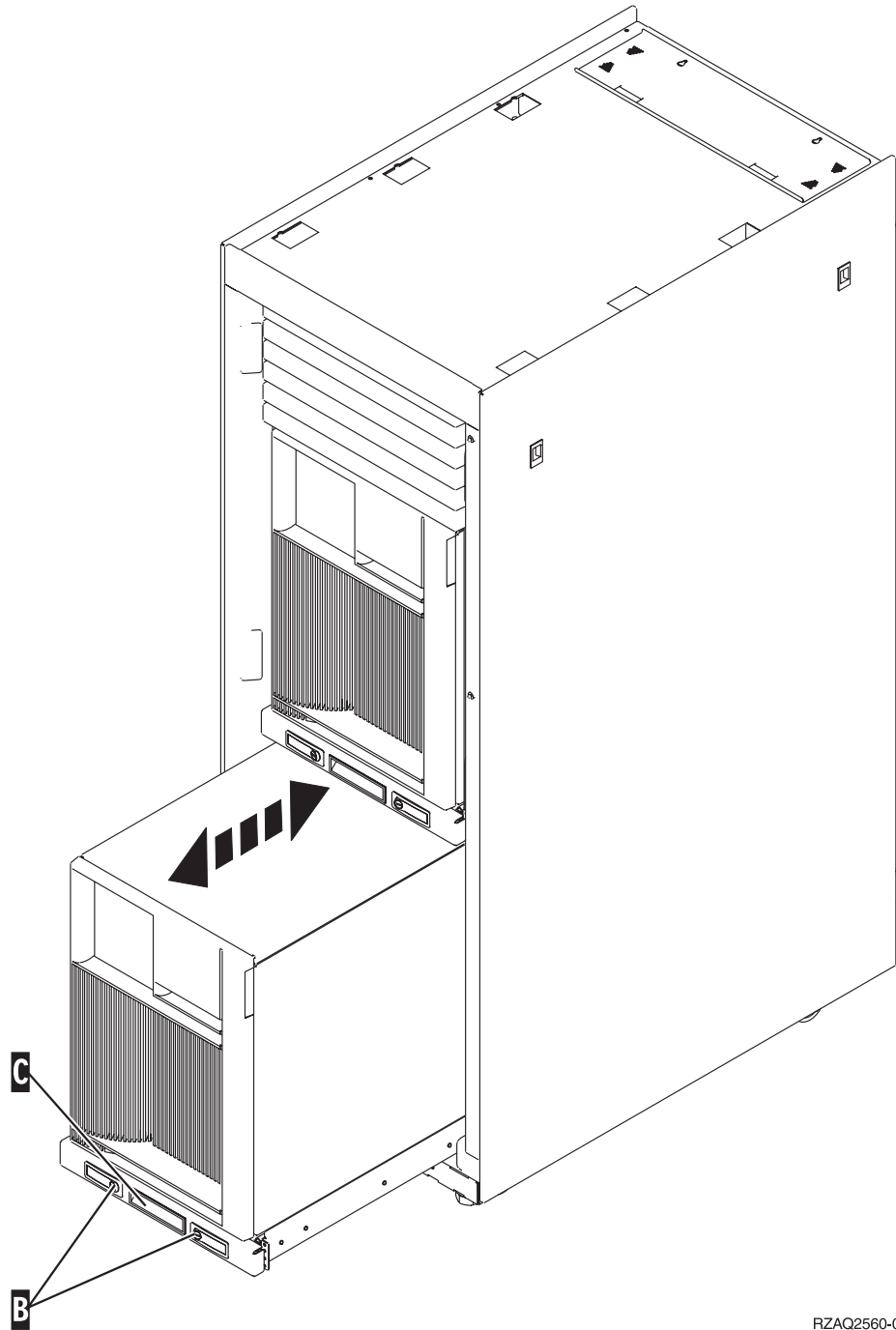
- **A** 背面カバーを開けます。
- **B** 背面カバーを取り外します。
- PCI カード・アクセス・プレートを取り外します。



RZAG6502-0

## ラック内の 270 および 810 装置

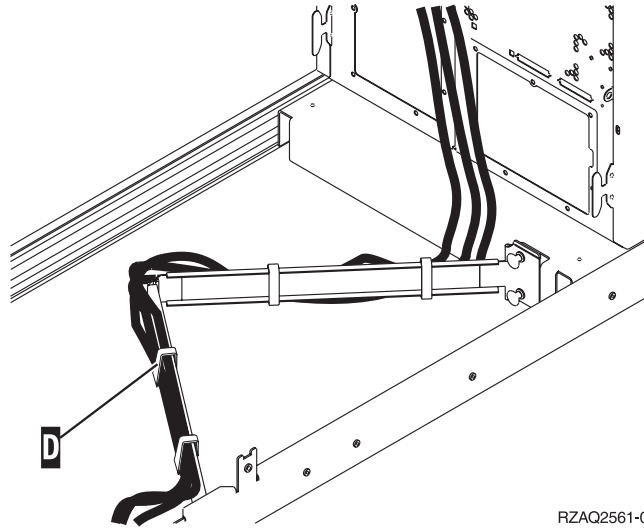
1. ラッチ **B** を押し、ハンドル **C** を使ってサーバーを引き出します。



RZAQ2560-0

2. 前出の装置の図を参照して、側面カバーを取り外します。

3. サーバーの配線を行う場合、ケーブル管理アーム **D** に沿って余分な配線を送り、ファスナーでケーブルを固定します。



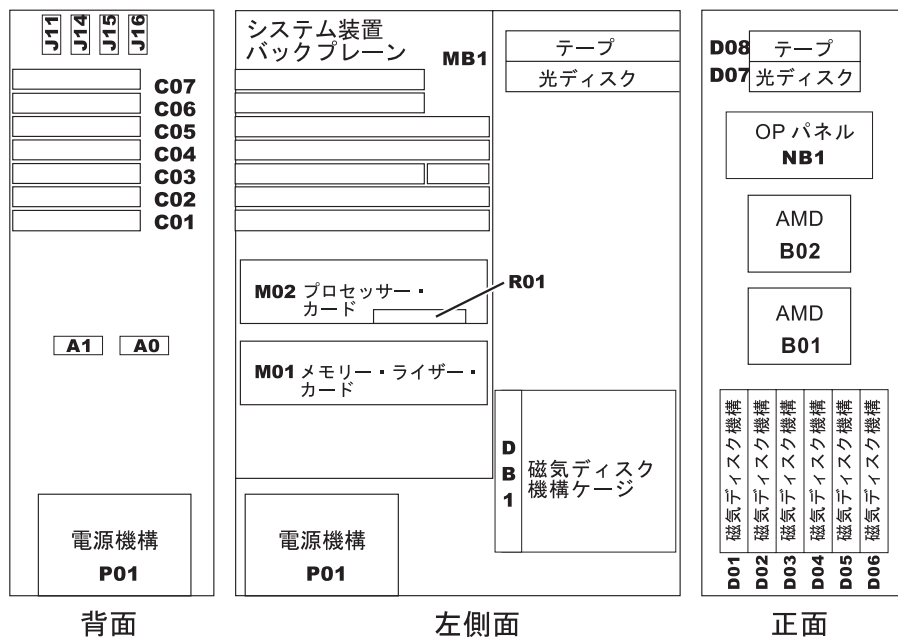
RZAQ2561-0

## PCI カードの位置

ご使用の装置の個所を参照してください。

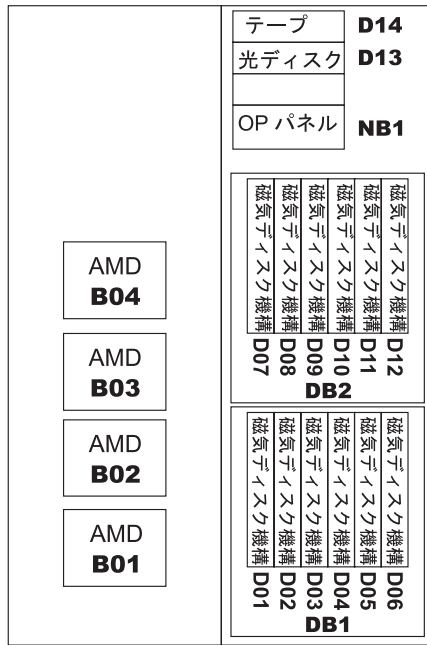
- 『270 システム装置』
- 18 ページの『820 システム装置』
- 19 ページの『830、840、890 システム装置』

## 270 システム装置

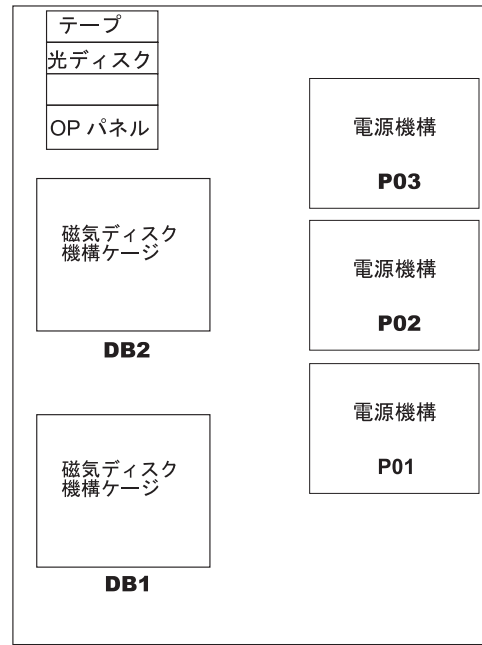


RZAQ2502-7

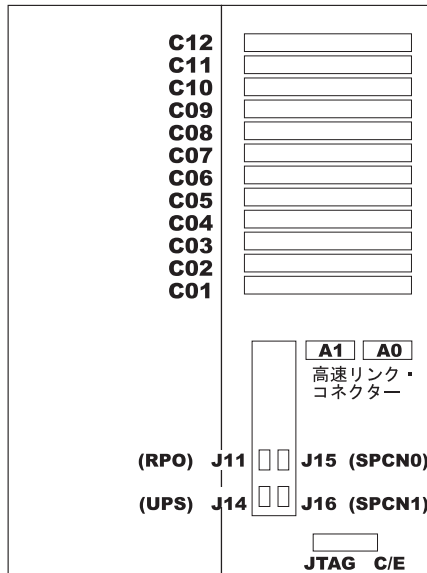
# 820 システム装置



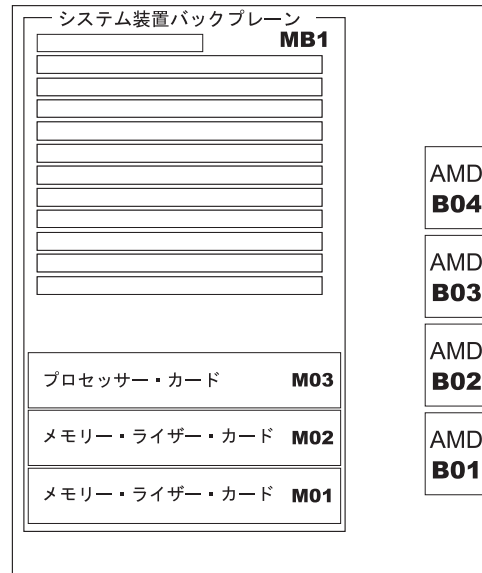
正面



右側面



背面



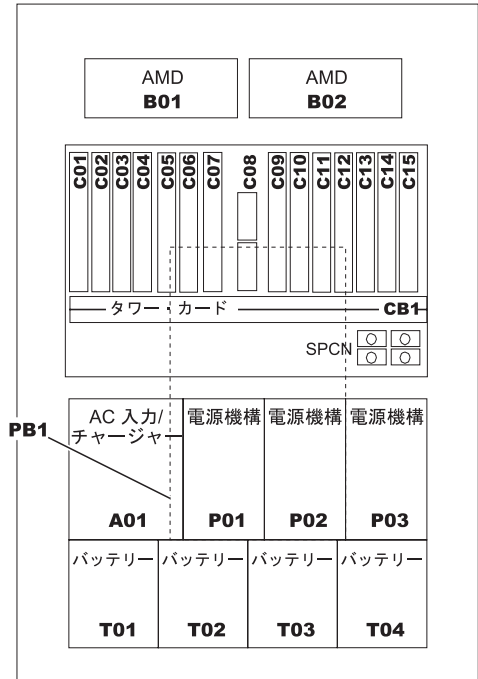
左側面

RZAQ2503-6

# 830、840、890 システム装置



正面



背面

RZAQ2507-4









Printed in Japan